

Memorial Exhibition

2024年
11月30日(土) ↓ 2025年
3月16日(日)



人間国宝 加藤孝造 追悼展

岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリー1



Living National Treasure
KATO KOZO

展覧会概要

加藤孝造（1935-2023）は現在の岐阜県瑞浪市に生まれ、初め画家を志すものの、勤務する岐阜県陶磁器試験場（現 岐阜県セラミックス研究所）の場長だった五代加藤幸兵衛の助言に従い、陶芸の道へと転向します。さらに、荒川豊蔵との出会いを経て独立し、可児市の平柴谷に穴窯を築いて瀬戸黒や志野、黄瀬戸など美濃桃山陶を追求するようになりました。なかでも瀬戸黒は、焼成中の窯から引き出し、急冷させることで漆黒の肌を生じさせるもので、この技法により 2010 年には重要無形文化財「瀬戸黒」の保持者に認定されています。

展覧会では、18 歳で日展入選の快挙を成し遂げた油彩画から試験場時代の作品、独立後の穴窯で焼成した瀬戸黒や志野、さらにこうした制作と並行して描かれた水墨画なども併せて、その多彩な全貌を紹介いたします。

展覧会情報

- 会場：岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリー1
- 会期：2024年11月30日(土)～2025年3月16日(日)
- 休館日：月曜日（ただし1月13日、2月24日は開館）、12月29日～1月3日、1月14日、2月25日
- 開館時間：10:00～18:00（入館は17:30まで）
- 主催：岐阜県現代陶芸美術館
- 共催：中日新聞社、CBC テレビ、CBC ラジオ
- 協賛：加藤智子氏
- 特別協力：丸沼芸術の森
- 観覧料：一般 1,000 円 [900 円]、大学生 800 円 [700 円] * 高校生以下無料
* [] 内は 20 名以上の団体料金
* 以下の手帳をお持ちの方および付き添いの方 1 名まで無料
身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費（指定難病）受給者証
* 国際陶磁器フェスティバル美濃'24 7館入場セット券の特別招待券
「人間国宝 加藤孝造 追悼展」未使用につき 1 名観覧



同時開催

[ギャラリーII A]

MoMCA グローイング・プロジェクト
光が創る色 ⇄ 色が創る光
高校生とつくる居心地のよい場所

[ギャラリーII B-D]

コレクション・ハイライト

[会期]

2024年11月30日 - 2025年4月13日

会期中展示替を行います。

前期：11月30日 - 2月2日 後期：2月4日 - 4月13日

見どころ

◆ 最初期から最晩年まで、あらゆる作品を紹介

中学生のころに初めて描いた油彩画から、遺作として日本伝統工芸展に出品された《瀬戸黒茶盃》まで、加藤孝造の制作を、約 150 点の作品によって余すところなく紹介。

◆ 瀬戸黒茶盃を堪能する

加藤孝造の瀬戸黒茶碗は、その姿や形が様々。瀬戸黒の重要無形文化財保持者（人間国宝）による至高の茶碗を間近で見比べてみよう。

◆ やきもの以外の作品にも

瀬戸黒の人間国宝としれ知られる加藤孝造だが、初めは画家を目指して油彩画を、後に中国旅行がきっかけとなって、晩年まで水墨画（墨彩画）を描いた。陶芸以外の作品も多く出品。

関連イベント

【申込受付開始 11 月 22 日（金）】 *参加費必要 *要事前申込

呈茶と語りで加藤孝造を偲ぶ

加藤孝造の茶碗による星茶と、最も身近に接していた内弟子の語り

日 時 : 12 月 21 日（土）13:30～
講 師 : 堀俊郎（陶芸家）
席 主 : 高木宗代（裏千家）
会 場 : 岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

【申込受付開始 11 月 8 日（金）】 *参加無料 *要事前申込

新・まちのなかの加藤孝造展

多治見市内にある加藤孝造作の陶壁やゆかりの地を担当学芸員とともに歩いて巡ります。2009 年に続く第 2 弾。

日 時 : 12 月 7 日（土）13:30～（2 時間程度）
集合場所 : 多治見市役所本庁舎前
（多治見市日ノ出町 2-15）
*多治見市役所駅北庁舎ではありません。

【申込受付開始 12 月 20 日（金）】 *参加費必要 *要事前申込

うるわしうるし継、いろいろ色漆仕上げ体験

良く知られる金継でなく、錫（スズ）粉を蒔く、あるいは色漆を塗って漆継の最終工程を体験します。割れていない器等を持参ください。

日 時 : 1 月 19 日（日）14:00～
講 師 : 加藤豊子（陶磁器ガラス等の修復士）
会 場 : 岐阜県現代陶芸美術館

*参加無料 *事前申込不要 *要観覧券（高校生以下無料）

ギャラリートーク

担当学芸員による展示解説。

日 時 : 12 月 15 日（日）
1 月 5 日（日） 各日 14:00～
2 月 9 日（日）

他にも、会期中に様々なイベントを開催します。
これらの詳しい内容や申込方法などについては、当館ウェブサイト等でお知らせいたします。

展覧会紹介文サンプル

● 50 字版

2010 年に重要無形文化財「瀬戸黒」の保持者に認定され、昨年逝去された加藤孝造の多彩な作品を紹介。

● 100 字版

18 歳で日展入選の快挙を成し遂げた油彩画から試験場時代の作品、独立後の穴窯で焼成した瀬戸黒や志野、こうした制作と並行して描かれた水墨画なども併せて、人間国宝・加藤孝造の多彩な全貌を紹介いたします。

【お問い合わせ】

岐阜県現代陶芸美術館（展覧会担当：学芸部 立花昭）

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5（セラミックパークMINO内）

TEL: 0572-28-3100 FAX: 0572-28-3101

HP: <https://www.cpm-gifu.jp/museum>

E-mail: museum.1@cpm-gifu.jp



広報用写真申込書

読者プレゼントチケット（5組10名様分）を希望します。※希望される方はを入れてください。

『人間国宝 加藤孝造 追悼展』の広報用写真(データ)を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、下記FAX番号またはメールアドレスまでお申し込みください。ご希望の写真にを入れてください。



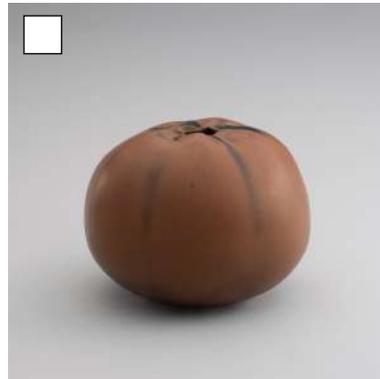
《瀬戸黒茶盃》 2013年頃
岐阜県現代陶芸美術館蔵



《瀬戸黒茶盃》 2018年 可児市蔵



《志野練込扁壺》 1993年 丸沼芸術の森蔵



《鉄釉壺》 1968年 丸沼芸術の森蔵



《黄瀬戸扁壺》 2001年頃 個人蔵



《孤望千里》 2001年 個人蔵

FAX : 0572-28-3101

Mail : museum.1@cpm-gifu.jp

展覧会担当：立花

写真データ貸出：野田・廣澤

貴社名 (ご担当者)

ご住所 〒

お電話

FAX

E-mail

掲載媒体名

題目

掲載予定日

備考

○写真・画像のご使用は本展覧会をご紹介いただける場合に限らせていただきます。

○使用される場合は、左記キャプション及びクレジットをご明記ください。

○デジタル画像は全てjpgです。ご送付の手段については原則としてメール送信（画像サイズは1点300～500KB程度）となります。

○大きなサイズの画像がご入用の場合は、担当までご連絡ください。

○ご掲載紙・誌を1部当館までご送付いただければ幸いに存じます。

展覧会担当：立花

写真データ貸出：野田・廣澤

 岐阜県現代陶芸美術館
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801
岐阜県多治見市東町4-2-5
TEL : 0572-28-3100
FAX : 0572-28-3101